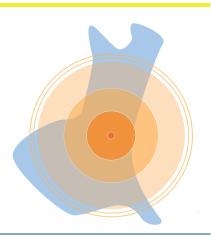
茨城県全域に広がる取り組み

2020年に水戸市からはじまった「ちいすけ」は、 茨城県全域での講座開催に拡大しています。

受講者数

2020年度(4回) 67名 2021年度(5回) 87名 2023年度(11回) 209名 2022年度(5回) 77名

2024年度(26回)507名



ちいすけ イバラキ 協力事業所になるには

1 お問い合わせ

「ちいすけ」を受け入れてみた い、興味を持っていただいた 方は、一度お問い合わせくだ

2 事業所説明会に参加

「ちいすけ」の取り組みや、実際 に就労につながったケースの紹 介などをお話しする説明会をご案

3 参加者との交流会

講座を受講した参加者と直接話 せる交流会を設けます。実際に お話しして頂き、見学・体験、就 労へとつなげていただきます。



協力事業所(2025年3月現在)

介護老人保健施設 大串の単、アシステッド・ヴィラかわわだ、リハビリデイサービスセンターかわわだ、ショートステイ安住野、介護老人保健施設はなみずき、特別養護老人ホーム ユーアイの家、社会福祉法人 翠清福祉会 かたくりの郷、みと南部ケアセンター、社会福祉法人 祐徳会、あおぞらニュータウンひまわり館、社会福祉法人仁心会 みと東部特別養護老人ホーム、介護老人福祉施設グリーンハウスみと、いろり 端水戸、トゥルーケアGHばなな、トゥルーケアGHメロン、トゥルーケアGHみかん。トゥルーケアGHいちご、株式会社スギショク、介護老人福祉施設 長牛園、特別養護老人ホーム双葉陽だまり館、株式会社 施設 ゆうゆう、特別養護老人ホーム のぞみ、NPO法人 新和会、いっしん、ハートワン、ここいち、ケアホーム 常陸国府館、サービス付き高齢者向け住宅・デイサービスなでしこ南台、特別養護老人ホームやさと、 |護支援事業所とんぼ、プルミエールひたち野、特別養護老人ホームやまなみ園、介護老人保健施設もえぎ野、介護サービスひだまり、特別養護老人ホーム 阿見翔裕園、すずらんデイサービス、美浦村デイサービ スセンター、シンフォニックタウンドルチェ、特別養護老人ホームみほ、小規模特養リヴァージュ、地域密着型特別養護老人ホーム鼎の郷、特別養護老人ホーム笠間陽だまり館、いろり端ほか、介護老人保健施設 すみれ オリーブ友部館、特別養護老人ホームすずらんの里 [順不同・敬称略]

茨城県で不足する介護職員数 44.224 2026 2040

12,241 人不足に

2040年の新成人数は約1.8万人 若い働き手だけでは、 人員不足は解消できない。

(参考)「茨城県人口動態統計」より考察

(出所) 第9期介護保険事業計画に基づく介護職員の必要数(都道府県別)

社会福祉法人 茨城県社会福祉協議会 TEL.029-244-4544 FAX.029-244-4543

https://jinzai.ibaraki-welfare.or.jp













介護助手養成







「ちいすけイバラキ」は、 茨城県社会福祉協議会と NPO法人ちいきの学校が協働し、"ちいすけ(介護助手)"を普及させる取り組みです。介護職員の負担軽減、それに伴い期待できるサービスの質の向上、また、地域の多様な働き方を創出することにより、介護人材確保に貢献し、茨城を元気にしていきます。



__ 介護助手って何?

介護専門職の助手や補助として介 護現場をサポートする存在。 施設内の清掃やシーツ交換、食事 の準備や片付け、利用者の話し相 手、送迎ドライバーなど、身体に触れ ないお仕事をします。

介護現場 & 地域社会を支える担い手 ち いず け(介護助手)





ご利用者にじっくり 向き合いたい

介護現場の人材確保

事業所と 地域の想いを つなぐ



社会参加の機会 就労の場の提供 地域貢献への想い

地域の多様な想い



子育ての 合間に 働きたい 地域の お手伝いを したい



シニア・子育て層・学生 など

ちいずけ として介護現場で活躍

一人ひとりの"生活リズム"、"とくい"に合わせた多様な働き方で 介護現場のお手伝い









朝・夕の 日中2~3時間、 送迎ドライバー お掃除・シーツ交換

食事の準備や お話し相手



ちいすけが誕生するまで

介護助手養成講座を受講

- ・介護保険について ・介護予防について
- ・認知症の理解など

交流会にて事業所と交流

講座後に、介護施設の職員とお話しができる交流会を行います。施設の様子やどんな働き方ができるかなど知ることができます。

茨城県福祉人材センターに登録

事業所の見学・体験

交流会で興味をもった事業所の見 学・体験ができます。

ちいすけとして活躍!

介護のプロが楽しく 教えるから安心!



**** ちいすけ さんに 間いてみました!

目分の"とくい"を活かして レクリエーションなどの手伝いも! 働き方も一人ひとりに合わせて!



上野さん

Q1. 今はどのような働き方をされていますか?

週に $3\sim4$ 日、1日4時間くらい働いています。利用者さんの送迎・移動の補助、レクリエーション、入浴時の介助、衣類の着脱支援、配膳などを担当しています。また、利用者さんが集える「喫茶コーナー」でも活動しています。

Q2. ご自身の中で、今の職場での役割はどのように感じていますか?

職員間のコミュニケーションを円滑にする"潤滑油"的な存在でありたいと思っています。職員がバラバラにならないよう、さりげなく声をかけたり場を和ませたりするよう心がけています。

Q3. この仕事のやりがいはどんなところですか?

利用者さんから「頑張ってるね」「あなたがいると元気が出る」と言ってもらえることが励みになります。また、脳トレやレクリエーションなどで楽しんでくれる姿を見たり、自分からやりたいと手を伸ばしてくれる瞬間に、心からやってよかったと感じます。